

musical Baumkuchen und Hiroshima

イツツフォーリーズ公演

原作 巢山ひろみ (くもん出版刊)

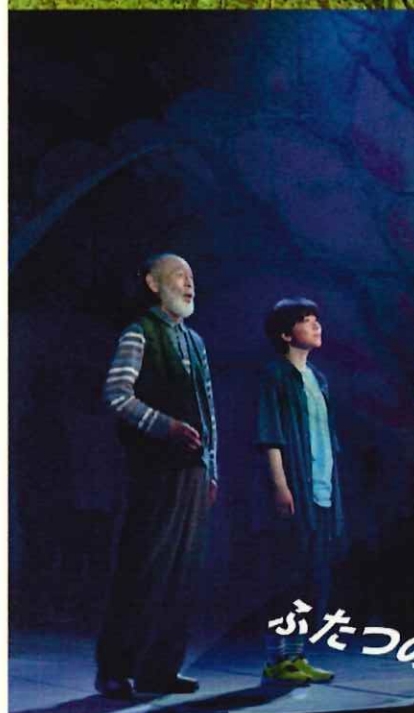
脚本・作詞 太西弘記 (TOKYOハンバーグ)

演出 磯村純 (青年座)

音楽 田中和音



ミュージカル baum kuchen と hiroshima



ふたつの戦争を越えた

baumkuchenの夢がつながり あしたへのグレートジャーニー



日時：2025年 11月26日 (水) 18:30 開演

会場：さいき城山桜ホール大ホール 開場18:00 終演 (予定) 20:15

チケット：大人3,000円 18歳以下：1,000円 ※未就学児童無料

チケット販売：さいき城山桜ホール1F窓口 ※全席自由 (出演者関係者席一部指定有)

主催：NPO法人さいき劇場 TEL 090-5944-5191 (三輪) 後援：佐伯市教育委員会



寄り場の学校も推薦！

【おもな出演者】



颯太
森山 真衣



カール
半澤 昇



フミさん
鈴木 彩子



エリーゼ
大川 永



颯太のおじいさん
石鍋 多加史

第8回九州沖縄わ・和・輪企画
九州縦断公演します！



イツフォーリーズ公演 ミュージカル「baumクーヘンとヒロシマ」

【スタッフ】

原作 梶山ひろみ（くもん出版刊）

脚本・作詞 大西弘記（TOKYO ハンバーグ）

演出 磯村 純（青年座）

音楽 田中和音

美術 根来美咲（青年座）

振付 明羽美姫

衣裳 富永美夏

歌唱指導 佳田亜樹

照明 鷲崎淳一郎（ライティングユニオン）

音響 返町吉保（キャンビット）

舞台監督 赤坂有紀子

絵 銀杏早苗

舞台写真 日高仁

制作 鎌田奈々美

プロデューサー 土屋友紀子

協力 株式会社くもん出版

株式会社 SUNBEAM / 劇団青年座

TOKYO ハンバーグ

企画・制作 株式会社オールスタッフ

ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ

【ものがたり】

ふたつの戦争を越えたbaumクーヘンの夢がつなぐ
あしたへのグレートジャーニー

1919年、日本で初めてbaumクーヘンが販売されたのは、広島市にあった物産陳列館でした。のちに産業奨励館と名前を変えたあと、1945年8月6日を境に、原爆ドームとよばれるようになったのです。

颯太は広島に住む小学生。1学期最後の日、夏休みに似島（にのしま）で行われるピース・キャンプのチラシを受け取りました。キャンプではbaumクーヘン作りが体験出来ると書いてあり、颯太はキャンプに参加したくてたまりません。なぜなら颯太は大好きなおじいさんがいつもお土産に持ってくるbaumクーヘンが何より大好物だから。そして、颯太は似島でキャンプに参加し、日本で初めてbaumクーヘンを作ったドイツ人捕虜、カール・ユーハイムの事を知ります。それは100年以上も前、颯太のひいおじいさんが子どもの頃のお話でした……。

原作は、第68回産経児童出版文化賞産経新聞社賞を受賞した、梶山ひろみ原作の「baumクーヘンとヒロシマ」。似島を訪れた小学生の颯太が、日本で初めてbaumクーヘンを作ったカール・ユーハイムのことを知り、平和の尊さを学んでいく物語です。

脚本・作詞はTOKYO ハンバーグの大西弘記、演出は青年座の磯村純が担当。颯太のおじいさん役はミュージカル界の重鎮・石鍋多加史がつとめます。baumクーヘンの夢がつなぐ平和のバトン。このミュージカルを見たらきっと、あなたもbaumクーヘンが食べたくなる！

2025年baumクーヘン九州ツアー
福岡・長崎・大分・鹿児島・佐賀
11月18日（火）～11月30日（日）



NPO法人さいき劇場は昭和47年に「佐伯子ども劇場」として誕生しました。以来、子どもたちに豊かな夢と創造性をテーマに、親子で生の舞台を楽しめる鑑賞会の活動を行っています。平成24年にNPO法人を取得し、現在は佐伯市子育て・子育て支援室「さくらっ子」の運営や、文化庁と共催の伝統文化親子教室の企画も行い、地域の子育て支援活動や文化活動に取り組んでいます。